

つかさ会 会報



2025.10月

会員の皆さん、こんにちは。日足はすっかり短くなり、秋風の冷たさを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。10月19日(日)に開催を予定しておりました「歩いて学ぶ ダイアベティス ウォークラリー in 岐阜 2025」は、あいにくの雨のため中止となりました。本イベントは延期の予定はございません。楽しみにしてくださっていた皆さんには申し訳ありませんが、また来年をご期待いただければと思います。

さて、今年も「ダイアベティスウィーク(全国糖尿病週間)」が近づいてまいりました。World Diabetes Day(世界糖尿病デー)である11月14日を含む1週間は、毎年、ダイアベティス(糖尿病)に関する知識を深める期間となっています。今年は11月10日(月)~14日(金)に、岐阜大学医学部附属病院1階イベントコーナーにて、糖尿病の知識や治療に関する掲示を行います。10日(月)には「肥満症とかくれ肥満」というテーマで講演会も開催いたします。詳細は同封の案内用紙をご覧ください。さらに、先月号でもご案内したとおり、11月30日(日)には「つかさ会 秋の講演会」も開催されます。皆さん、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。(今回も同封しました。)

では、今月のさかえの読みどころを当科の加藤先生に紹介していただきます。



つかさ会のみなさん、こんにちは。10月号の内容をご紹介いたします岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科/免疫内分泌内科の加藤丈博です。秋の気配が深まり、朝夕は少しずつ肌寒さを感じる季節となりました。体調を崩しやすい時期でもありますが、皆さまお元気にお過ごしください。

さて今月号の「さかえ」ですが、特集1(P.5)では、透析療法の最新の進歩や、自宅で行う腹膜透析・在宅血液透析など、近年広がりを見せてている「選択肢」についてわかりやすく解説されています。また、「どの治療法を選ぶか」という視点だけでなく、「どんな生活を送りたいか」「自分らしい生き方をどう描くか」に焦点を当てている点も特徴的です。医療技術が進歩した今だからこそ、医療者と対話しながら、自分に合った治療を一緒に考えることの大切さを改めて感じさせてくれる内容です。特集2(P.33)では、医療費助成制度、高額療養費制度、身体障害者手帳など、知っているようで知らない制度の具体的な利用方法が丁寧に紹介されています。特に働きながら治療を続ける方や、家族の支援を受けながら生活されている方にとって、制度を理解しておくことは安心につながります。特別企画1(P.17)ではインフルエンザと新型コロナウイルス感染症について、発症時の対応や後遺症、ワクチン接種についてなど最新の情報が整理されています。また予防のポイントについても書かれていますので、ご一読いただけますと良いかなと思います。特別企画2(P.46)では、糖尿病のある方が安心して海外に出かけるための準備と工夫が紹介されています。インスリンや内服薬の管理、機内での低血糖対策など、実用的なアドバイスが満載です。

秋は食欲の季節もあり、旬の食材を味わいながら血糖マネジメントを続ける工夫が求められます。体調変化に注意しつつ、日々の記録を振り返りながら、ご自身のペースで治療を続けてくださいね。

